

鶴嶺東地区まちづから協議会会議報告書

部会名	防災減災部会	会議名	第1回会議		
日付	令和6年4月19日	場所	鶴嶺東コミセン	記入者	石井 浩
<主な内容>					
議題1 合同防災訓練に対する意見交換					
①合同防災訓練に「地域住民の参加」を促したい。					
②住民が興味を抱くイベントにするため、起震車を活用した体験型の訓練を企画できないか。 3拠点の避難所を1拠点に集約して市役所職員の手厚いサポートを受ければ実現できそう。					
③風水害時の止水訓練の要望あり。					
④合同防災訓練では時短の為、安否確認を実施した後、避難所に移動して訓練をしていた。					
⑤避難所への避難訓練は、全ての住民が参加できるようにしたい。					
⑥合同で何の訓練をするのか、個別で行うのか、避難所を使うのか否か、選択が必要。					
⑦安否確認は絶対実施したほうが良い。					
⑧合同訓練、安否確認訓練、防災リーダー実務訓練を年一回実施するのが標準と考える。					
⑨合同防災訓練の前に、事前に説明会を開催している。					
⑩水害を想定した避難訓練の要望あり。					
⑪住民参加の訓練は年何回か開催するのがベストだが準備の負担を考えると年一回が良い。					
⑫防災リーダーのための技能訓練が必要 防災リーダーから住民への訓練、教育は個別に実施すればよい。					
⑬防災訓練というと一般的に避難する訓練と救助する訓練ばかり目立つが、 防災に関する啓蒙活動も重要である。					
⑭逃げる訓練は3年に一回、地域特有の啓蒙活動（防災講習）を実施してはどうか。 避難所までの距離が長いので参加が大変な事情がある。					
⑮地域住民（子供たちも含めた）参加型のイベントを企画してほしい。					
⑯避難所毎の分散型合同訓練は2年連続して実施した。 原点に戻って集中イベントを開催してはどうか。					
⑰避難所における訓練は、説明を受けるだけでなく、実際に触れたり体験できるものを希望。					
⑱避難所において、市配備職員との顔合わせをすることは重要である。					
今後の進め方					
6月には合同防災訓練の概要を確定する					
以上					
<次回の予定・内容>					
令和6年6月14日（金）		5月開催は中止			
出席者：					
高橋 夏木（矢畑）、		川口 明（西久保）、		石井 浩（西久保）	
浪越 哲也（浜之郷）、		長久 修三（TBS）、		吉原 弘子（TBS）	
坪井 一樹（アイランズ）、		尾坂 清（鶴嶺東コミセン）、			
出席者計：8名（敬称略） 順不同					